


**JASDAQ**
**平成25年3月期 第3四半期決算短信【日本基準】(連結)**

平成25年2月4日

上場会社名 株式会社メディアグローバルリンクス 上場取引所 大  
 コード番号 6659 U R L <http://www.medialinks.co.jp/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 林 英一  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長 (氏名) 武田 憲裕 T E L 044-589-3440  
 四半期報告書提出予定日 平成25年2月4日 配当支払開始予定日 ー  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

## 1. 平成25年3月期第3四半期の連結業績 (平成24年4月1日～平成24年12月31日)

## (1) 連結経営成績 (累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
25年3月期第3四半期	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第3四半期	3,194	141.3	520	—	553	—	410	—
24年3月期第3四半期	1,323	6.1	△419	—	△447	—	△460	—

(注) 包括利益 25年3月期第3四半期 457百万円 (ー%) 24年3月期第3四半期 △460百万円 (ー%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
25年3月期第3四半期	円 銭	円 銭
25年3月期第3四半期	7,899.36	7,662.68
24年3月期第3四半期	△8,896.30	—

## (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
25年3月期第3四半期	百万円	百万円	%	円 銭
25年3月期第3四半期	4,088	2,177	51.7	40,101.59
24年3月期	3,981	1,664	40.9	31,478.71

(参考) 自己資本 25年3月期第3四半期 2,115百万円 24年3月期 1,628百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
24年3月期	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
25年3月期	—	0.00	—	—	—
25年3月期(予想)				0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

## 3. 平成25年3月期の連結業績予想 (平成24年4月1日～平成25年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
通期	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	4,600	46.7	620	225.5	600	307.4	500	248.2	9,663.51

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

## ※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無  
新規 一社 (社名) 一、除外 一社 (社名) 一

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- |                      |     |
|----------------------|-----|
| ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 | : 有 |
| ② ①以外の会計方針の変更        | : 有 |
| ③ 会計上の見積りの変更         | : 有 |
| ④ 修正再表示              | : 無 |

(注) 上記「会計基準等の改正に伴う会計方針の変更」及び「会計上の見積りの変更」については、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」第10条の5に該当するものであります。詳細は、添付資料P.

3 「2. サマリー情報（注記事項）に関する事項 (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	25年3月期 3 Q	52,751株	24年3月期	51,741株
② 期末自己株式数	25年3月期 3 Q	一株	24年3月期	一株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	25年3月期 3 Q	52,028株	24年3月期 3 Q	51,741株

## ※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であります。なお、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了しております。

## ※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

業績予想に記載した数値は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分に不確定な要素を含んでおります。実際の業績は、今後のさまざまな要因によって予想数値と異なる可能性があります。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報 .....	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報 .....	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報 .....	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項 .....	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 .....	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	3
3. 四半期連結財務諸表 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書 .....	8
(4) 繼続企業の前提に関する注記 .....	9
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 .....	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、債務問題を主因とする欧州経済の低迷、中国経済の減速長期化、円高基調などにより、弱含みの推移となりました。

当社グループが主要マーケットとする放送業界においては、国内では放送局各社の業績は堅調に推移しているものの、新規設備投資に対しては、未だ慎重な姿勢を崩していません。

そのような経済状況のもと、当社グループは海外での事業展開を着実に進めました。

前年度に受注したオーストラリアの放送用基幹ネットワーク構築プロジェクトにおいては当社製品およびシステムの納入が、また米国においても同国最大の通信事業者であるAT&Tへの納入が、それぞれほぼ計画通り進行しました。

国内においては、大手通信事業者、放送事業者などへの直接販売に注力するとともに、デジタル共聴システムの販売を推進しました。

その結果、当第3四半期連結累計期間の当社グループの売上高は3,194百万円（前年同期比141.3%増）となりました。製品グループ別内訳では、放送系売上高が357百万円（同4.9%減）、通信系売上高が2,377百万円（同180.2%増）、その他売上高については海外における保守・サービスの伸びにより459百万円（同362.7%増）となりました。

利益面では、売上総利益率が前年同四半期連結累計期間の53.2%から当第3四半期連結累計期間は57.0%に上昇し、売上総利益は1,819百万円（同158.2%増）となりました。販売費及び一般管理費は、1,299百万円（同15.5%増）を計上し、それらにより、営業利益は520百万円（前年同期は営業損失419百万円）、経常利益は553百万円（前年同期は経常損失447百万円）に、四半期純利益は410百万円（前年同期は四半期純損失460百万円）にそれぞれなりました。

なお、3ページに記載の「（3）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」のとおり、第1四半期連結会計期間より在外子会社の収益及び費用の円貨への換算方法を変更しております。当該会計方針の変更は遡及適用され、前第3四半期及び前連結会計年度については遡及適用後の四半期連結財務諸表及び連結財務諸表となっております。

また、当社グループは映像通信機器のメーカーとして事業を行なっており、当該事業以外に事業の種類がないため、セグメント別に事業を分類しておりません。

### (2) 連結財政状態に関する定性的情報

#### ① 資産、負債および純資産の状況

##### (資産)

当第3四半期連結会計期間末における総資産は前連結会計年度末に比べ107百万円増加し、4,088百万円となりました。主な変動要因は、受取手形及び売掛金の減少855百万円、現金及び預金の増加428百万円、商品及び製品の増加311百万円によるものであります。

##### (負債)

当第3四半期連結会計期間末における負債は前連結会計年度末に比べ405百万円減少し、1,911百万円となりました。主な変動要因は、短期借入金の減少296百万円、買掛金の減少185百万円、未払金の減少150百万円、未払法人税等の増加103百万円、長期借入金の増加102百万円によるものであります。

##### (純資産)

当第3四半期連結会計期間末における純資産は前連結会計年度末に比べ512百万円増加し、2,177百万円となりました。主な変動要因は、四半期純利益410百万円の計上による利益剰余金の増加によるものであります。

#### ② キャッシュ・フローの状況

当第3四半期連結累計期間における現金及び現金同等物（以下「資金」という）は、前連結会計年度末に比べ410百万円増加し、1,807百万円となりました。各キャッシュ・フローの状況は次のとおりであります。

##### (営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果増加した資金は651百万円（前年同期は400百万円の増加）となりました。その主な要因は、売上債権の減少859百万円、たな卸資産の増加306百万円、仕入債務の減少184百万円、税金等調整前四半期純利益533百万円の計上によるものであります。

##### (投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果減少した資金は68百万円（前年同期は31百万円の減少）となりました。その主な要因は、有形固定資産の取得による支出39百万円、定期預金の預入による支出17百万円によるものであります。

##### (財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果減少した資金は184百万円（前年同期は183百万円の増加）となりました。その主な要因は、短期借入金の純減額296百万円、長期借入れによる収入200百万円、長期借入金の返済による支出77百万円によるものであります。

### (3) 連結業績予想に関する定性的情報

連結業績予想につきましては、平成24年5月7日の「平成24年3月期 決算短信」で公表いたしました通期の連結業績予想に変更はありません。

## 2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

### (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

### (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

### (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(在外子会社の収益及び費用の換算方法の変更)

在外子会社の収益及び費用は、従来、当該子会社の決算日の直物為替相場により円貨に換算しておりましたが、第1四半期連結会計期間より期中平均為替相場により換算する方法に変更しております。この変更は、在外子会社における売上高の重要性が増しており、今後もその傾向が継続すると見込まれる中、期末時点で受ける一時的な為替相場の変動による期間損益への影響を緩和し、より実態に応じた企業状況を表示するために行ったものであります。当該会計方針の変更は遡及適用され、前第3四半期及び前連結会計年度について遡及適用後の四半期連結財務諸表及び連結財務諸表となっております。

この結果、遡及適用を行う前と比べて、前第3四半期連結累計期間の売上高は8,375千円増加し、営業損失は6,699千円減少し、経常損失及び税金等調整前四半期純損失は1,053千円それぞれ減少しております。また、前連結会計年度の期首の純資産に累積的影響額が反映されたことにより、利益剰余金の前期首残高は49,747千円減少しております。

(会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更)

当社は、法人税法の改正に伴い、第1四半期連結会計期間より、平成24年4月1日以後に取得した有形固定資産については、改正後の法人税法に基づく減価償却の方法に変更しております。

これによる当第3四半期連結累計期間の損益への影響は軽微であります。

3. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成24年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,549,148	1,977,906
受取手形及び売掛金	1,483,097	627,687
商品及び製品	603,309	915,224
原材料及び貯蔵品	42,292	48,855
繰延税金資産	28,663	41,347
その他	58,734	204,973
貸倒引当金	△7,880	△1,111
流動資産合計	3,757,366	3,814,884
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	4,164	38,943
機械装置及び運搬具（純額）	175	142
工具、器具及び備品（純額）	73,814	96,252
リース資産（純額）	17,473	17,275
有形固定資産合計	95,627	152,614
無形固定資産		
ソフトウェア	8,684	11,565
リース資産	55,693	45,250
その他	3,549	2,288
無形固定資産合計	67,926	59,104
投資その他の資産		
投資有価証券	24,648	25,762
その他	35,601	35,981
投資その他の資産合計	60,249	61,744
固定資産合計	223,804	273,463
資産合計	3,981,170	4,088,347
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	342,568	156,791
短期借入金	1,028,000	732,000
1年内償還予定の社債	35,000	35,000
1年内返済予定の長期借入金	87,484	107,204
未払法人税等	37,108	141,040
未払金	196,220	45,953
その他	69,054	74,514
流動負債合計	1,795,435	1,292,502
固定負債		
社債	162,500	145,000
長期借入金	94,966	197,763
長期未払金	205,110	205,110
リース債務	58,150	42,474
その他	328	28,226
固定負債合計	521,054	618,574
負債合計	2,316,489	1,911,077

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成24年12月31日)
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	1, 579, 922	1, 594, 459
資本剰余金	2, 063, 238	2, 077, 775
利益剰余金	△1, 977, 441	△1, 566, 450
株主資本合計	1, 665, 720	2, 105, 785
その他他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△6, 309	△5, 195
為替換算調整勘定	△30, 670	14, 809
その他他の包括利益累計額合計	△36, 980	9, 614
新株予約権	35, 940	61, 871
純資産合計	1, 664, 680	2, 177, 270
負債純資産合計	3, 981, 170	4, 088, 347

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年12月31日)
売上高	1,323,944	3,194,578
売上原価	619,280	1,375,109
売上総利益	704,663	1,819,469
販売費及び一般管理費		
役員報酬	164,724	165,728
給料及び手当	258,325	331,581
研究開発費	301,863	260,639
その他	399,730	541,369
販売費及び一般管理費合計	1,124,644	1,299,319
営業利益又は営業損失（△）	△419,981	520,150
営業外収益		
受取利息	146	997
受取配当金	282	308
為替差益	—	41,408
貸倒引当金戻入額	10,465	6,768
その他	422	537
営業外収益合計	11,317	50,020
営業外費用		
支払利息	11,171	14,770
社債利息	1,326	1,087
為替差損	24,231	—
その他	2,412	993
営業外費用合計	39,141	16,851
経常利益又は経常損失（△）	△447,805	553,319
特別利益		
投資有価証券売却益	—	449
特別利益合計	—	449
特別損失		
固定資産除却損	—	4
本社移転費用	—	20,711
特別損失合計	—	20,715
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失（△）	△447,805	533,054
法人税、住民税及び事業税	13,783	127,978
法人税等調整額	△1,284	△5,915
法人税等合計	12,498	122,063
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失（△）	△460,303	410,991
四半期純利益又は四半期純損失（△）	△460,303	410,991

(四半期連結包括利益計算書)  
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益 調整前四半期純損失(△)	△460,303	410,991
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△3,771	1,114
為替換算調整勘定	3,534	45,479
その他の包括利益合計	△236	46,594
四半期包括利益	△460,540	457,585
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△460,540	457,585
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年12月31日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失（△）	△447,805	533,054
減価償却費	56,081	51,951
株式報酬費用	9,967	27,737
貸倒引当金の増減額（△は減少）	△10,465	△6,768
役員退職慰労引当金の増減額（△は減少）	△205,110	—
受取利息及び受取配当金	△429	△1,305
支払利息	11,171	14,770
社債利息	1,326	1,087
為替差損益（△は益）	6,941	△11,814
投資有価証券売却損益（△は益）	—	△449
固定資産除却損	—	4
本社移転費用	—	20,711
売上債権の増減額（△は増加）	1,021,067	859,636
たな卸資産の増減額（△は増加）	△289,693	△306,040
仕入債務の増減額（△は減少）	△58,798	△184,748
前受金の増減額（△は減少）	△2,017	1,224
長期未払金の増減額（△は減少）	205,110	—
その他	117,884	△289,836
小計	415,230	709,212
利息及び配当金の受取額	429	948
利息の支払額	△12,987	△13,778
本社移転費用の支払額	—	△13,387
法人税等の支払額又は還付額（△は支払）	△2,412	△31,623
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>400,260</b>	<b>651,371</b>
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の預入による支出	△15,331	△17,969
有形固定資産の取得による支出	△14,044	△39,194
無形固定資産の取得による支出	△2,309	△7,908
投資有価証券の売却による収入	—	450
敷金及び保証金の差入による支出	△222	△22,574
敷金及び保証金の回収による収入	452	29,315
資産除去債務の履行による支出	—	△10,216
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>△31,455</b>	<b>△68,097</b>
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額（△は減少）	217,000	△296,000
長期借入れによる収入	100,000	200,000
長期借入金の返済による支出	△95,669	△77,483
社債の償還による支出	△17,500	△17,500
株式の発行による収入	—	27,267
リース債務の返済による支出	△20,009	△20,707
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>183,821</b>	<b>△184,423</b>
現金及び現金同等物に係る換算差額	5,590	11,845
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	558,217	410,695
現金及び現金同等物の期首残高	720,717	1,396,719
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,278,934	1,807,415

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。